

その笑顔、ひとりひとりが宝物。

Smile

2023年 11 月号

vol.691



P2-3

みんなで国消国産！秋の大収穫祭 直売所へ行こうキャンペーン！

P8-9

地区別総代懇談会意見集約



INDEX

04・05	安曇野豊穰営農メモ	12	あつまるつながるみんなのあした
06・07	ほっとレポート	13	あしたへのあんしん
10・11	すまいる情報チャンネル	14・15	うれし楽し交流広場

※表紙写真 あぐりキッズスクール果樹コースに参加した廣川航輝くん・岳遼くん・和くん

みんなで国消国産！

「秋の大収穫祭」直売所へ行くキャンペーンスタート

JAあづみ創立60周年記念企画



▲販わう店内（10月1日）

10月1日、創立60周年記念企画「みんなで国消国産！秋の大収穫祭 直売所へ行くキャンペーン」を始めました。安曇野市豊科南穂高の大型農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」を核とし、週末を中心に「食」や「健康」にちなんだイベントを11月30日まで開きます。

国消国産への理解醸成狙う

JAグループが展開する国内で消費する食べ物にはできるだけ国内で生産するという「国消国産」について、消費者に理解を深め、「食」や「農」の重要性を再認識してもらおうと独自に企画しました。期間中は、JAあづみ公式SNSを活用した農産物のプレゼント企画や安曇野産フルーツを対象とする



国消国産とは？

「国」で「消」費する食べ物にはできるだけこの「国」で生「産」するという考え方で、全国のJAグループで取り組みを進めています。

フォトコンテストなども同時開催しています。

千國茂代表理事組合長は「世界的な異常気象やウクライナ戦争など、食を取り巻く環境は激変している。次世代のためにどうすればいいか考えながら、安曇野の秋を堪能していただきたい」と述べました。



▲国消国産をテーマにした、松本蟻ヶ崎高校書道部員による作品

イベント賑わう 学生協力

初日はオープニングセレモニーを開き、幅広い世代の来場者で賑わいました。実施した催しは、先着100名限定の直売所クーポン券の配布やアニメキャラクターとの握手・撮影会、新米の食べ比べ、ぬかくど米の振る舞い、新米!目方でドーンなど。会場には「国産産米」をテーマにした松本蟻ヶ崎高校書道部員の作品を飾りました。松本大学松商短大の学生の協



▲新米の食べ比べ企画は大好評



▲直売所クーポン券配布



▲ぬかくど米の振る舞い



▲新米!目方でドーンの当選者⑥に景品の新米をプレゼントする学生たち

力により催しは、無事に終えることが出来ました。

店内には、リンゴや梨、ブドウなどの果物のほか、キノコやサツマイモ、大根など実りの秋を彩る食材が並び、カゴいっぱい買い求める来場者で溢れました。

同市から来場した女性は「ウクライナ戦争で食に関する心配事が増えた。なるべく地場の食材を買って作り手の農家さんを応援したい」と話しました。

今後のイベントのご案内

11月10日(金)・11日(土)・12日(日)

●第52回大生活祭

11月18日(土)・19日(日)

●新そば祭り・長芋フェア
※打ち立てそばの振る舞いなど

11月25日(土)・26日(日)

●国産国産キャンペーン感謝祭
●りんご祭り

※店内商品を2,000円以上お買い上げの先着400名に安曇野産さこのセットをプレゼント。
※イベント内容は変更となる場合があります。

来場者数222万2222人
オープンから7年4カ月で達成

安曇野市豊科南穂高の大型農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」の来場者数(レジ通過者数)が10月8日、222万2222人に達しました。安心・安全な農産物を提供する地産地消の拠点として、消費者や生産者の支持を集め、オープンから7年4カ月での達成となりました。

同日、正午ごろにレジで会計をした長野市青木島の勝川佳子さん家族が222万2222人目となり、千國茂組合長が記念品の安曇野産リンゴ「シナノスイート」5キロと新米「コシヒカリ」10キロを贈ると、来場者やJA役員らが拍手で祝福しました。

勝川さんは「毎月1回は利用している。いつ来ても新鮮な農産物やお惣菜、鮮魚が揃っていて安曇野に来た時の楽しみの一つになっている」と嬉しそうに話しました。



▲勝川さん家族と千國組合長(右から1人目)

果実

晩生種りんごの収穫と 秋の管理作業

りんごは晩生種の収穫期となります。適期収穫に努め、各規格に沿って出荷を進めましょう。収穫が終わった品目は礼肥を施し、来年に備えます。「果樹土壌分析」も併せて活用しましょう。

1. 収穫

ふじの収穫期となります。以下の点に注意して収穫を進めましょう。

まずは着色良好な上枝や樹の外周の果実を収穫すると、内枝への日照が良くなり着色が進みます。ガクア部（果実の下側）のアメ色を目安に熟度を確認し、11月25日までに採り終えられるよう収穫を進めましょう。収穫が遅れ寒波により果実凍結が発生すると品質低下の原因となります。万が一凍結してしまった場合、気温が上がって自然に融けるのを待ってから収穫を再開して下さい。（凍結した果実は手の体温だけで障害を負う場合があります。）

2. 秋の管理作業

① 施肥

りんごをはじめ各品目の基肥施用時期となります。果樹施肥基準に沿って、樹齢や樹勢に合わせた施肥をしましょう。

② 除草剤の散布

この時期の除草剤散布は冬季の野鼠による食害の軽減、春先の雑草抑制に繋がる作業です。収穫終了後の風が穏やかな日を選び、樹やヒコバエに飛散しないよう散布して下さい。

③ 野鼠対策

廃果実は園地外に持ち出して処分しましょう。駆除剤を使う際は使用基準に注意し、手袋など安全な装備で取り扱しましょう。

詳しくは各地域宮農センター指導員までお問い合わせ下さい。



(果実課 小林鷹文)

そ菜

秋播きエンドウマメの栽培について

エンドウマメの栽培は他の豆類より栽培が容易です。寒さに強いのが特徴で「つるなし」タイプであればペランダ等でプランター栽培も可能です。エンドウマメの越冬前栽培方法と重要な部分をご紹介します。

■ 品種

エンドウの品種には、大きく分けて、きぬさやエンドウ、スナックエンドウ、実とりエンドウの3種類があります。栽培スタイルに合わせた品種選定をお勧めします。

■ 播種

開花期から収穫期まで、できるだけ長く適温期間になるように播種する時期を決めます。発芽適温は15〜20℃度前後になります。

※10℃程度の低温であっても発芽日数が長くなりますが、比較的発芽率が高く播種可能です。エンドウは耐寒性の強い幼苗で冬を越すようにします。マルチは雑草を抑え、水分と肥料分を保持する働きがあるので露地栽培の場合は必ず利用して下さい。

■ 苗と植え付け方法

播種後5日程度で発芽します。本葉が2枚くらいの際に1〜2本に間引きします。

【ポット育苗で安定】

豆類は播種後から発芽までの間、鳥による被害が多いのでポット育苗後の定植をお勧めします。育苗期間は1カ月程度なので6cmポットに播種します。生育が旺盛になつてから定植すると活着が悪くなるので、本葉3〜4枚くらいになったら、根鉢を壊さないように定植します。

★越冬品種

本葉2〜3枚頃が最も耐寒性が強く、幼苗はマイナス4℃ぐらいの低温に耐えることができます。越冬時に生育が進みすぎると寒害を受けやすくなります。大きくなりすぎた場合はしっかり防寒対策をしましょう。

詳しくは各地域宮農センター又は、各地区担当指導員までお問い合わせください。



(堀金地域宮農センター主任 保尊優一)

水稲

今月は、今年1年の水稲栽培を振り返り、来年度への反省と対策を考えましょ。

今年の梅雨は、6月8日頃から7月22日頃までと期間が長く、雨の少ないのが特徴でした。梅雨明け後は高温が続き、6月下旬以降は平年よりも気温の高い日が続きました。早生種の出穂期は5日早く、コシヒカリの出穂期は8月1日で平年より6日も早くまりました。

お盆以降も高温傾向で、猛暑日が続く、稲刈りは早生種で8月下旬頃、コシヒカリの収穫は9月9日頃より本格化し、例年より1週間早い収穫作業となりました。品質面では、生産者の水管理等の努力により、高温障害・胴割れ米・白未熟粒の発生は抑えられました。

JAあづみの 特別栽培米ヌカッ子とは

◆ヌカッ子栽培は、化学肥料・化学合成農薬を地域慣行の50%以上削減し栽培したお米で、環境や人への安全・安心と食味向上を目指しています。有機物を工々に大地

に微生物を増やし、自然の力を利用して作ります。

長野県の慣行農薬数は12成分、全国平均は17成分ですから、もとも農薬の使用は非常に少ないのが特徴です。

◆ヌカッ子は米ヌカ等植物系の有機資材を使い作っています。ヌカはヌカでも、一般のヌカと違い、無洗米を作る段階で出る肌ヌカを使っていきます。それに、菜種粕や大豆を混入して作った「米の精7号」という肥料を10aあたり120kgの基準量で散布して作ります。

個人施設で区分けのできる方・同じ圃場で栽培できる方・循環型農業で栽培したい方にお勧めします。

詳しくは各地区指導員までお問合せ下さい。



(豊科地域営農センター 青柳安定)

産直

JAの直売所には、安曇野スイス村ハイジの里・穂高農産物直売所・あづみふる里市の直営3店舗、管内の大型店(ベイシア・ビック三郷店など)の中にあるインショップが8店、女性部の皆様が主に運営している有明・北穂高支所の直売所など13店舗があり、安全・安心な旬の農産物を販売しています。

直営直売所のご紹介

安曇野スイス村ハイジの里

生産者とお客様を結ぶ地産地消の拠点として、また観光客などの来訪者に地域やJAに関する情報の発信基地となっている「安曇野スイス村」は、長野県内最大級のJA直売所です。新鮮・安全・安心な地元産の農産物などを取り揃えております。

- 【営業時間】 9時～18時
- 【定休日】 毎月1日(土・日・祝は営業)
- 【住所】 安曇野市豊科南穂高5566-1
- 【電話番号】 87-0812



穂高農産物直売所

穂高支所の隣に併設しているトレーラーハウスが目印の直売所です。地域の農家が持ち寄った新鮮な野菜や果物が並びます。

- 【営業時間】 月～金 9時～16時30分
- 【定休日】 土・日・祝
- 【住所】 安曇野市穂高2473-1
- 【電話番号】 82-3115(穂高支所兼用)



あづみふる里市

地元産の新鮮な野菜や果物が毎日入荷しています。四季折々の果物、野菜を販売しています。

- 【営業時間】 1～3月 休業
- 4～9月 8時30分～16時
- 10～12月 9時～16時
- 【定休日】 水
- 【住所】 安曇野市三郷温2030-1
- 【電話番号】 77-7530



(販売開発課 塩原卓磨)

毎年恒例「新米祭り」開催 秋の味覚求め来場者で賑わう

9月 23・24日

- 11 秋の味覚を求め、新米を味わう
- 12 つくし農産物直売所
- 17 パートナシップで農産物を販売しよう

シの里にて毎年恒例「新米祭り」を開きました。安曇野産の新米「コシヒカリ」のほか旬の果物や野菜、彼岸用の切り花などを特価で販売、秋の味覚を買い求める来場者で賑わいました。

神奈川県横浜市の佐藤字さんは「安曇野は美味しい農産物の宝庫だと思う。秋は特に美味しい物が揃う時期。家族でじっくり味わって堪能したい」と笑顔で話しました。



▲新米を品定めする来場者

あぐりキッズスクール水稲コース 稲刈り体験大喜び

9月 24日

- 4 秋の味覚を求め、新米を味わう
- 11 秋の味覚を求め、新米を味わう
- 15 秋の味覚を求め、新米を味わう
- 17 パートナシップで農産物を販売しよう

を伝える「あぐりキッズスクール（水稲コース）」を開講しました。小学3～6年生とその家族計18人が参加。秋晴れのもと、黄金色に輝く「コシヒカリ」の収穫体験に汗を流しました。

田んぼでは、JA職員が鎌の使い方や稲の刈り方を指導。参加者は、たわわに実った稲穂を掴むと手際よく刈り取り、「うまく刈り取れた」などと大はしゃぎで収穫体験を楽しみました。



▲たわわに実った稲を刈り取る参加者たち

就農フェアに初出展 産地の魅力発信

9月 30日

- 15 秋の味覚を求め、新米を味わう
- 17 パートナシップで農産物を販売しよう

宮農経済事業部は東京都の池袋サンシャインシティで開かれた「新・農業人フェア農業EXPO」に出展しました。農業に関心を持つ来場者と面談し、産地の魅力や新規就農までの流れなどを説明しました。

同フェアは、日本全国の自治体や就農支援機関など各種団体がメインに出展する日本有数の就農相談会で、新規就農希望者を誘致しようと初めて出展しました。

同部の丸山昌則次長は「参加者には農業の厳しさ故のやりがいをしっかりと伝えられた」と話しました。



▲産地の魅力などを説明しました

甘くてジューシー「シナノスイート」本番 糖度14度選別で食味適及

10月 2日

- 11 秋の味覚を求め、新米を味わう
- 12 つくし農産物直売所

安曇野市三郷温の果実中央選果所でリンゴ中生種の主力「シナノスイート」を初出荷しました。選果所では、選果スタッフ23人が果実のキズや日焼けなどを目視で確認。選果機のセンサーで熟度や糖度、大きさを判定し、4等級に分けて箱詰めしました。この日、選果した約1000ケース（1ケース＝10キ）を首都圏の市場に出荷しました。

「シナノスイート」は、糖度が高く酸味が少ないのが特徴で、果汁が多く甘味もあるため幅広い年代の消費者に求められています。JAでは、令和4年度から新たに糖度選別を導入。「優」以上の等級は、糖度14度以上として出荷しています。

10月は競合産地・品目が出揃い、販売環境が厳しくなることから、他産地製品との差別化を図るとともに食味を適及し高値販売を狙います。

JAあづみりんご部会の西牧幸則部会長は「子どもからお年寄りまで幅広い世代のみなさんに食べていただきたい」と話しました。



▲傷等を確認し選果機に流すスタッフ

真っ赤なリンゴ採れたよ 農業体験講座で収穫体験

10月 8日

- 4 秋の味覚を求め、新米を味わう

安曇野市三郷のリンゴ農家・帯刀洋亮さんの園地で農業体験講座「あぐりキッズスクール（果樹コース）」の最終講座を開講しました。14家族32人が参加し、たわわに実った「オリジナルリンゴ」をもぎ取りました。前回の講座では文字やイラストのシールを果面に貼り模様をつけていました。

帯刀さんやJA職員が収穫作業のポイントを説明。帯刀さんは「果実を優しく持ち上げるようにすると上手に収穫できる」とアドバイスを送りました。

この日を待ちわびた参加者は、それぞれが手掛けたシールを剥がすと、リンゴの表面に文字やイラストが浮かび上がった。

農業体験講座で収穫体験

り、歓喜の声が広がりました。それらを収穫し家族で記念写真を撮ったり、その場で丸かじりするなど農業の醍醐味を味わいました。

曾根原桜さんは「枝から綺麗に採れたときは嬉しかった」と笑顔で話しました。

宮農経済事業部の丸山昌則次長は「農家の苦労を感じ、地元のお物を食べて応援したい」と話しました。



▲収穫のポイントを手ほどきする帯刀さんと参加者

秋ストック出荷目揃い会 厳正な選別で選ばれる産地に

JAあづみ、JA大北、JA松本ハイランドの生産者でつくる中信ストック協議会は、安曇野市堀金のそ菜特産流通センターで秋ストックの出荷目揃い会を開きました。

各JAの生産者やJA全農長野、JA職員ら16人が参加し、出荷最盛期を前に販売状況や花部選荷基準、選荷荷造り基準、採花上の注意点を確認しました。

目揃い会では宮農経済事業部農産課の小山幸亮宮農指導員が出荷規格や荷造り方法などを説明。小山指導員は「市場関係者から品質に定評がある。規格に準じた厳正な選別と作付けた花は出来るだけ出荷していただき、1円でも高く販売

したい」と呼び掛けました。

同協議会の出荷量は約30万本と県内一。主に関西や中京、東海方面の市場へ出荷し11月上旬をピークに年明けまで続く予定です。

生産者は「今年は異常気象で花が作りづらい年。それでも消費者は待っている。品質にこだわりたい」と意気込みました。

10月17日

地元のワサビ加工品メーカー株式会社マル井と連携し、産地化を目指して取り組んでいる陸(おか)ワサビの定植作業が最盛期を迎えました。

安曇野市堀金烏川の(有)斉藤農園では、高さ10センチほどの苗約900本を1アールのハウスに定植し、殺虫剤や乾燥・除草対策のつもりも撒きました。同園の斉藤岳雄専務取締役は「1株1キロを目標に、昨年を上回る収量を確保したい」と意気込みました。

令和6年産は11戸の生産者が31アールに作付けし、令和6年5月下旬〜6月下旬に収穫期を迎えます。収穫量は30トンを見込んでいます。



▲定植作業をする従業員

「べんま名月」出荷 品種特有の甘さを活かして販売

安曇野市三郷の果実中央選果所でリンゴの黄色系品種の中で最も出荷量の多い「べんま名月」を初出荷しました。令和5年産は春先の凍霜害の影響

によるサビ果や10月初旬の強風によるスレなどが目立つものの、生育が前進したことから糖度が高く食味は良好です。

この日までに集荷した68トンのうち約1500ケース(1ヶ箱10ヶ箱)を選果し、首都圏や関西、九州方面の市場に出荷しました。

出荷作業は10月下旬をピークに11月上旬頃まで続く見込みで、令和5年は3万700ケース(1ヶ箱10ヶ箱)の出荷を見込んでいます。「べんま名月」は、群馬県で育成され

た品種。果汁たっぷりで甘みが強く、蜜入りがよいのが特徴。消費者に人気が高く、年々出荷量が増えている黄色系品種です。

選果所では、選果スタッフ19人が果実の裂傷や日焼け、スレなどを丁寧

に確認し選果機に流しました。果実はセンサーで熟度や大きさを判定、4等級に分けて箱詰めし

ました。果実はセンサーで熟度や大きさを判定、4等級に分けて箱詰めし



▲出荷基準を確認する生産者ら



▲果面の傷やスレなどを確認

陸ワサビ定植作業最盛期 収量目標1株1キロ

10月17日

「2023JAあづみカップ」開催 全18ホールで熱戦

10月18日

スポーツを通じて仲間の輪を広げ、組合員や地域の皆さんと交流を深めることを目的とした「2023JAあづみカップゴルフ親睦大会」を開催しました。安曇野市穂高のあづみ野カントリークラブには、各地区の代表者や4年ぶりに姉妹提携を結んでいるJA愛知みなみの役員らが参加し、地区の垣根を越えて親睦を深めました。

結果は次の通り。(敬称略)

- ▽団体の部 1位 小倉グリーンゴルフクラブ
- 2位 穂高支所ゴルフ倶楽部 3位 明盛ゴルフクラブ
- ▽個人の部 1位 萩原浩一 2位 小原正貴 3位 松田正和



▲団体優勝を果たしたクラブのメンバー

10月19日

「シナノゴールド」初出荷 食味は例年以上の仕上がりが

松本市梓川の果実南部選果所で長野生まれの黄金色リンゴ「シナノゴールド」を初出荷しました。この日までに集荷した35トンのうち、1600ケース(1ヶ箱10ヶ箱)を首都圏や関西、中京、地元市場に出荷しました。

今後、サンふじの贈答用セット販売等も含め10月中旬から長期的に市場で販売します。中生種の中では最も日持ちする品種で需要期が異なることから、市場の声を聞いた柔軟な出荷対応で、高単価販売を狙います。選果所では、選果スタッフが裂傷やスレなどを丁寧に確認し、選果機に流しました。センサーで熟度や大きさを判定し、3等級に分けて箱詰めしました。



▲果実の裂傷や傷などを確認しました

地区別総代懇談会意見集約

令和5年度は、JAあづみ長期構想・2022-2024 3ヶ年計画の中間年度として、10年後の「めざす姿」を実現すべく鋭意取り組んでおります。10月14日、令和5年度上半期事業経過報告と下期に向けた事業対策等を検討いただくため、地区別総代懇談会を6会場で開催いたしました。懇談会では、建設的なご意見が総代の皆様から多く寄せられました。そこで、「意見・ご要望の多かった事柄についてお知らせいたします。」

1. 次世代総点検運動は JAや生産者が主体的に

JAあづみは、「5年後、10年後の農地を誰がどのように守っていくか」という最重要課題に対して、JAあづみ長期構想・2022-2024 3ヶ年計画で掲げた「次世代総点検運動」を展開しています。

具体的には、昨年度に果樹農家を対象とした調査を行い、農家個別の経営意向などを収集しました。今後は、調査結果を生産者説明会で共有し、共通の理解を深め、具体的な実践計画の策定を行い、果樹農業の将来に向けた明確な方向性を定めていきます。

同様に、本年度は土地利用型農家を対象にした意向調査を実施中です。今後、調査結果を基に地域農業ビジョンを策定し、将来の発展を支

える強固な農業生産基盤の再構築を図ってまいります。

この取り組みは、県、市、農業委員会などと連携し、最終的には農地利用の将来像を描く「人・農地プラン」に基づく「地域計画」に繋がります。

持続可能な農業の実現には、多様な農業者の協力が欠かせません。情報共有、計画策定、協力、連携などの重要なステップを組み合わせて進めるため、JAや生産者が主体的に関わり、地域全体の一体感が不可欠です。

2. アスパラガスの産地づくりと指導体制

当JAの管内は、これまで主に水稻栽培によって農地を活用してきました。しかし、農業収入を増加させるために、高収益作物への転換を模索し、アスパラガスの産地再生を目指します。アスパラガスの振興に関しては、

課題と現状を考慮し、新しいアプローチである「産地再生」に焦点を当て、栽培の普及に取り組みます。

指導体制としては、広域のチーフ指導員を配置し、各地域営農センターには担当指導員を配置いたします。また、各地区の模範的なアスパラガス生産者と連携し、実証的な試験農場を設け、現場での実践研修を行うとともに、県試験場、行政、JA全農長野などと連携したプロジェクトを立ち上げ、持続的な増収の安定を実現します。

当JAでは、農業振興対策事業（令和5-6年度）によりアスパラガスの雨除け栽培を支援しますので是非ご利用ください。また、現在のところ、市の振興品目としては交付金の対象外ですが、今後の振興計画に沿って、行政に交付金対象品目への要請を行ってまいります。なお、農業振興対



▲あいさつを述べる宮澤専務（三郷地域会場）

策事業については、各地域営農センターにお問い合わせください。

3. 生産者と消費者が一体となった農産物直売所「ハイジの里」の運営

多くの皆様にご利用いただいている農産物直売所「ハイジの里」は、生産者と消費者をつなぐ食と農の情報発信の拠点として、7年を迎えました。生産者会員と利用者の数は増加し続けております。

また、昨年7月にオープンした「ハイジの里オンラインショップ」(ネット販売)は、厳選された高品質な食材を提供し、「安曇野プレミアム」の付加価値を加えて販売を開始しました。今後、「安曇野ブランド」としての販売など、試行と調整を進めていきます。

農産物直売所は地元の生産者にとって重要な販売チャネルであり、商品の品質と価格が非常に重要です。消費者は直売所で購入する商品に品質を求め、同時にリーズナブルな価格を望む傾向があります。したがって、生産者は工夫と試行錯誤を通じて、販売に対する取り組みを行っています。また、JAは営農指導を通じて、売れる農産物についての提案を

行っています。

さらに、直売所に併設された食育ルームでは、定期的に料理教室「あじみのキッチン」を開催することも、店内外では、新米まつり、くだものまつり、りんご祭り、歳末市、初売り、節分祭などの多彩なイベントを継続的に実施し、集客に努めております。その他にも、毎月第4金曜日にセンターキッチン前で、エコファーマーの農産物販売促進活動も行っています。

JAあづみは、まもなく創立60周年を迎えます。この記念事業として、「みんなで国産国産！秋の大収穫祭直売所へ行こうキャンペーン」を10月1日から11月末までの2か月間にわたり展開しております。このキャンペーンは、地域への「食」と「農」に対する理解促進を目的とした特別企画で、農産物直売所「ハイジの里」を中心にさまざまなイベントが開催されます。組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

4. 多様な担い手のための農業機械のコスト低減

農業機械のコスト低減に関して、トラクターとコンバインについて、生産者アンケートに基づいた機能の厳選

を行い、県域共同購入に取り組んでいます。さらに、トラクター、畦草刈機、管理機、歩行モア、バッテリー動噴、乗用モアなどを県域推奨型式として低価格で提供しています。

そして、定年退職後の農業者を含む多様な担い手に対応し、農機コストを削減する取り組みを行っています。農機レンタルおよびシェアリースも提供しており、特に農機レンタルについては、JA独自のレンタル機を提供するだけでなく、県域レンタル機の選定と拡充を利用者のニーズに合わせて全農に要請していきます。さらに、近隣JAとの情報共有を通じて、レンタル機種種の融通の相互貸し出しも検討しています。

また、中古農機の需要については、更新サイクルが延びているため地域で優良な中古機を見つけるのが難しい状況です。しかし、全農が運営する中古農機情報サイトでは、県内各地からの中古機仕入れを通じて、中古農機を提供していますので、ぜひ活用いただければと思います。

5. 組合員とともに歩む10年後のめざす姿への取り組み

JAの農協改革については、「農協改革集中推進期間」が終了した後

も、不断の自己改革を進め、組合員との対話活動を通じて自己改革を実践しています。自己改革実践サイクルは、令和4年度からスタートし、今年で2年目を迎えます。

この取り組みでは、「農業者の売上増加・コスト低減」につながる必要な取り組みを実践するための具体策と目標を設定し、令和4年度では全ての項目について計画を達成しました。今年度も新たな目標に向け、特別栽培米の推進を始め、りんご高密度栽培への改植、肥料省力化への取り組みなど、全ての項目が目標達成できるよう取り組んでいます。特に、肥料省力化への取り組みについては、各種品目のオリジナル肥料の開発を始め、さまざまな施策に取り組んでおります。

なお、これらの取り組みとその成果については、組合員の皆様の評価を通じて次期3カ年計画に反映させ、経済社会情勢の変化を考慮しながら、組合員の皆様とともに考え、10年後のめざす姿に向けて取り組んでまいります。

営業時間のお知らせ

令和5年11月から令和6年2月の間は原則として、次の営業時間となりますのでお知らせいたします。

業務区分	営業時間	休業日	業務区分	営業時間	休業日	
金融・共済業務	8:30~17:00 [窓口]9:00~15:00	土・日・祝	生活課 (宅配)	8:30~17:00	日・祝	
ローンセンター	9:00~16:30	水・祝 ※上記を原則とし、状況により営業する場合があります		8:30~12:00		
地域営農センター	8:30~17:00	土・日・祝・2/29	農業機械センター	8:30~17:00	土・日・祝	
地区営農センター	9:00~16:00	地域の状況により営業する場合があります。 ※詳しくは最寄りの各地域・地区営農センターまでお問い合わせください。	プロパンセンター	8:30~17:00	土・日・祝	
	高家 倭 9:00~17:00		給油所	有明 温・倭	7:30~19:30	無休
	小倉 8:30~17:00			烏川	7:30~19:30 (日・祝のみ7:30~19:00)	無休
みどりの店	8:30~17:30	11月 水曜日・11/30 12月 水曜日・第2、第4日曜日 1月 水曜日・第2、第4日曜日 2月 水曜日・2/29	大野川	8:30~17:30	月・水	
安曇野スイス村 ハイジの里	9:00~18:00	12/1.1/1~1/4.2/1	奈川	8:30~17:30	水・日	
安曇野スイス村 ハイジの里別館	9:00~17:00	水曜日・1/1	安曇野イン ターSS	7:00~21:00	無休	
穂高農産物直売所	9:00~16:30	土・日・祝	灯油配送 センター	8:30~17:30	無休	
そ菜特産 流通センター	11月	8:00~17:00	福祉課	8:30~17:00	日曜日 土・日・祝	
	12~2月	8:30~16:00	ふれあい センター	9:00~16:00	※上記を原則とするが、地域の状況により営業する場合があります	
果実流通 センター	11月~12月	8:00~17:00	オートパル	9:00~17:00	日・祝 12/29~1/3	
	1月	8:00~15:00				
	2月	8:00~16:00				
耐久資材センター	8:30~17:00	日・祝 2/29				

※上記以外のその他の一般業務は8:30~17:00となります。

園芸施設共済 に加入して、 災害リスクに備えましょう！



園芸施設共済は、農業用ハウスのための保険です。

被災時のハウスの再建をサポートします。



補償内容は、棟ごとに選択できます。

小さな損害も補償する特約(ビニールが破れただけでも補償してほしい)
損害額が1万円を超える場合に、損害の程度に応じて共済金をお支払いします。

補償額の上乗せ特約(古くても、万が一のときは十分な補償がほしい)
築年数にかかわらず新築時の資産価値まで補償します。



施設の構造、設置経過年数、加入の仕方によって掛金が異なります。
制度に関する質問や、補償額・掛金の試算等についてもお気軽にお問い合わせください。



施設内農作物は
収入保険との
セット加入が
オススメです。

【お問い合わせ先】
NOSAI長野 安曇野支所
TEL:0263-72-5192

軽トラマルシェ開催

とき 11月17日(金) 13:00~14:30

ところ JAあづみ西穂高ふれあいセンター
東側駐車場

信州の伝統野菜「牧大根」や長芋、りんご、ゴボウなどの農産物を特価で販売します。

北穂高農産物直売

とき 11月18日(土) 9:00~10:30

ところ JAあづみ
北穂高ふれあいセンター北側倉庫

女性部による地元農産物やりんごなどを特価で販売します。

お問い合わせ先:穂高支所

☎0263-82-3115

第29回 有明地区祭&新そば祭り

とき 11月18日(土) 9:00~12:00

ところ 穂高地域営農センター構内

越冬野菜や鮭、味噌、砂糖、りんごなどの販売のほか、お子様限定のお菓子の掴み取りも開催します。また、新そばを1人前500円(100食限定)で販売いたします。

お問い合わせ先:有明出張所

☎0263-83-2211

りんごフェア & 農業祭り

とき 11月18日(土) 8:30~15:00

11月19日(日) 8:30~14:00

ところ JAあづみ三郷支所構内
三郷農村環境改善センター

贈答用りんごや自家用りんご、地場産農産物やそばなどを販売いたします。

※(株)かまくらやによる新そばの振舞いやミニコンサートを実施いたします。

お問い合わせ先:三郷支所 ☎0263-77-2066

農業青色申告・複式農業簿記基礎研修会について

横山実税理士を講師に招き、青色申告や複式簿記の内容について詳しく解説します。お気軽にご参加下さい。参加費は無料、定員は各回25名までです。

日 時	会 場	内 容
12月8日(金) 13:30~15:00	広域営農センター 2階会議室	・青色申告の必要性とメリット 基礎知識 ・青色申告の手続き等について ・インボイス制度について
12月22日(金) 13:30~15:00		・複式簿記の必要性 ・簡易簿記と複式簿記の違いと 簡単な簿記記帳 ・インボイス制度について

【申込期限】12月1日(金)まで※申込多数の場合は、先着順と致します。

【担当部署】営農経済事業部 農業企画課:吉澤・担い手支援室:原
☎0263-72-2933

農作業の負担軽減につながる商品のご紹介:JAファームみどりの店

農家の労働負担軽減につながるパワーアシストスーツとサポーターをご紹介します。※商品価格は消費税込みの価格です。製品は身体の負担を軽くすることを目的としており、自身が持っている以上の力を発揮できるものではありません。また、使用感には個人差があります。



『マッスルスーツ Exo-Power』

電力不使用なので稼働時間に制限ありません。人工筋肉とバネで最大補助力27kgf。重量物の持ち運びや長時間の中腰作業などの腰の負担をパワフルにサポート。(農業振興対策の対象)

【価格】198,000円



『ダーウィンサット』

骨盤コルセット機能と伸縮ゴムの張力を利用。中腰姿勢での作業や物の持ち上げ作業等の体の動きをしっかりサポートします。

【価格】上半身 16,500円
下肢パーツ 5,500円



『メッシュアクションギア クラシック』

重い荷物の運搬やつらい腰への悩みに腰全体をしっかりサポート。固定力が高く、作業の妨げになりにくい労働現場のためのコルセットです。

【価格】7,920円

【お問い合わせ先:0263-73-7667】

あつまる つながる みんなのあした

親睦深まるウォーキング交流会

大自然を堪能

10月5日

JAあづみ女性部

JAあづみ女性部生活専門委員会は、大町市の国営アルプスあづみの公園で毎年恒例の「女性部ウォーキング交流会」を開きました。今回は部員らの要望で会場を変更しての開催となりました。

健康促進や仲間作り、部員同士の交流を深めることを目的に参加者を募集したところ35人が参加。気が置けない仲間とともにおしゃべりしながら大自然を堪能しました。

同園は、約100畝の広大な敷地内にコナラやカエデ、アカマツなどが楽しめる「林間ゾーン」や水辺の魅力を満喫できる「溪流ゾーン」、地上5.9メートルの高さから森の生き物の目線で空中散歩が楽しめる「空中回廊」など7つのテーマゾーンがあります。部員らはそれぞれの体力に合わせて

ノルディックウォーキングやウォーキング、ゆったり自由散策の3班に分かれて、和気あいあいとおしゃべりしながら約2時間散策しました。

胡桃澤温子委員長は「大自然の中、森林浴を満喫しながら普段交流できない部員と話したり、お弁当を食べながら談笑したり、部員同士の親睦が深まる交流会になった」と話しました。



▲大自然を満喫する部員たち



秋の遠征ノルディックウォーキング開催

自然の景色を満喫

10月11日

JAあづみ女性部

JAあづみ女性部梓川支部は、松本市安曇の乗鞍高原で毎年恒例となっている「秋の遠征ノルディックウォーキング」を開催しました。

部員とJA職員合計22名が参加。それぞれの脚力に合わせた3コースに分かれ、秋空の下、薄っすら雪を被った乗鞍岳や紅葉に色づく樹々などの自然の景色を満喫しながら約2時間乗鞍高原を散策し、汗を流しました。

同支部では部員の健康と体力増強を目的に

4月より毎月1回、講師を招いてノルディックウォーキングを開催しておりこれが7回目。

今年初の遠征に竹内茂子支部長は「天候にも恵まれ大勢の部員が参加する中開催することができて本当に良かった」と笑顔で話しました。



▲自然の景色を満喫した部員たち



あんしん 広場

NPO法人JAあづみくらしの助け合いネットワークあんしんは10月2日、安曇野スイスサンモリッツで第18回大きく広げよう“あんしん”の輪の集いを開きました。会員や地域住民など約120人が参加し、地域で元気に暮らすためのコツを学びました。



あしたへのあんしん

デイサービス
あんしんの里
榎

さらに秋の恒例「ハロウィンパーティー」も行い、利用者さんに仮装をしていただきました。帽子やマントを身に着け、笑顔で写真を撮りました。その写真を壁面に飾り、職員と一緒にご自分の写真を見つけては、大笑いしたりと楽しい時間を過ごしました。

地域の方や利用者さんのご家族を招待し、第1回交流会を行いました。榎の里で取り組んでいる体操をしたり、琴のボランティア「さくら会」の美しい琴音を聴きながら童謡を歌



福祉相談会のお知らせ

【日時】 11月15日(水) 10時~12時
【場所】 JAあづみ南穂高ふれあいセンター
【内容】 福祉の専門家(介護支援専門員・介護福祉士)がわかりやすく相談に応じます。※相談無料 予約優先

☆クリスマスリース講座

～癒しの空間を作りませんか～

参加費 材料代1,000円
定員 10名(定員になり次第締切)

【講師】 工房 森のめぐみ リース作家
小林 三香子

ご予約・問い合わせ先

JAあづみ訪問介護事業所 0263-72-2148

JAあづみ居宅介護支援事業所 0263-87-0380

令和5年度

「あんしんセミナー」のご案内

“自分のこと、ちょっと地域の事考えよう。
広げよう地域の助け合い!”

	月/日	曜日	演題	講師
7回	11月25日 午前10時~	土	自分らしく最後まで生きられる里づくり 一般財団法人地域ケア総合研究所 所長 竹重俊文さん	

〈セミナー会場〉

地域支え合いセンターあんしん
〒399-8201 安曇野市南穂高 2728-1
参加費：各回 600円 (一般 1,200円)

お申し込み・ご注文・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
JAあづみくらしの助け合い
ネットワークあんしん
(地域支え合いセンター)
TEL.0263-71-2828
FAX.0263-88-2802

デイサービス
あんしんの里
南穂高

また、お彼岸の時期には、恒例になっているお萩づくりを行いました。あん・ゴマ・黄な粉をまがし、上手に仕上げてくださいました。「昔は家中心で集まって作ったよね」、「美味しいぞつ、早く食べたいね」などと話しながら慣れた手つきで楽しんでいました。

敬老の日に合わせて敬老会を行い、皆さんとお祝いしました。今年も、あんしん広場の紹介でマリンバのボランティアを招き、演奏を披露していただきました。その方は、これまで他施設・機関を周り、今回で805回目を数える大ベテラン。利用者さんがよく知っている童謡・唱歌の曲を選んでいただき、マリンバの音と一緒に元氣よく歌っていました。





年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお休みの日にもお気軽にお越し下さい。

日	時	場所
11月16日(木)	9:00~15:00	穂高支所
25日(土)	10:00~16:00	堀金支所
		豊科支所
12月13日(水)	9:00~15:00	有明出張所
16日(土)	10:00~16:00	三郷支所
19日(火)	9:00~15:00	梓川支所



シェフ 永井のおすすめ

サンマとマイタケの炊き込みご飯

「キッチン明人」のオーナーシェフ 永井智一



材料(4人分)

サンマ 2尾
 ショウガ(千切り) 少々
 米 300g
 だし昆布 1枚
 マイタケ 200g
 塩 適宜

A

水 270ml
 料理酒 大さじ1と1/2
 しょうゆ 大さじ1
 塩 小さじ1/2

作り方

- (1) サンマは頭と尾、内臓を取り除き半分に切って塩焼きにする。
- (2) 米を研ぎ20分ざるあげしてから、炊飯器にAの材料を合わせ、研いだ米を20分浸水する。
- (3) 炊飯器にだし昆布を入れ、その上に(1)のサンマと小房にしたマイタケ、ショウガのをせ炊飯する。
- (4) 炊き上がったたらサンマと昆布を取り出し、サンマの中骨を取り除き炊飯器に戻し、混ぜ合わせて出来上がり。

CROSSWORD PUZZLE パズル

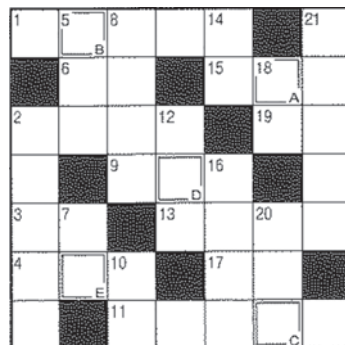
タテのカギ

- ② 日光の紅葉の名所。48個のカーブがあります
- ⑤ ——大敵、運転中は気を引き締めて
- ⑦ 白——に身を包んだ花嫁さん
- ⑧ ジョギングや水泳、筋トレなどはこの一種
- ⑩ ハウスを使わず作物を育てる——栽培
- ⑫ 考えるときにひねるもの
- ⑭ 応用に移る前にしっかりと
- ⑯ 1カ月の後ろ3分の1
- ⑰ ペンのはキャップと呼ぶこともあります
- ⑱ 東京都中央区の地名。豊洲へ移転した東京都中央卸売市場があった場所
- ⑲ 2人でおそろいの服を着ます

ヨコのカギ

- ① 甘柿の王様と呼ばれることもあります
- ② 屋内のこと。——派
- ③ ボンレス——、——サンド
- ④ 漢字では石榴、柘榴などと書く果物
- ⑥ たき火に手をかざして取ります
- ⑧ 飲んで食べて話して楽しみます
- ⑩ 山野で生まれ育ったヤマノイモ
- ⑫ 奇術師が披露するもの
- ⑮ ベンチよりふかふかしています
- ⑰ 富士山の山頂を白くします
- ⑲ 漬物やワインを詰めます

Q. 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



(JA広報通信より引用)

応募ハガキの記入方法

(皆様の声をお寄せ下さい)

63 399-8283 安曇野市豊科
 JAあづみ総務課 四二七〇一六
 スマイル編集委員会

① クイズの答え
 ② 郵便番号・住所
 氏名・年齢・職業
 電話番号
 ③ JA・広報誌へのご意見、日頃の出来事など

応募締切
11月21日(火)必着

正解の中から抽選で3名の方に、JAまごころ商品券(1,000円分)をプレゼントします。(毎月20日頃発送)

A. 10月号の答え



解答 A B C D E
 (カ) (イ) (ス) (ウ) (ウ)

応募総数通 42 通

当選者 安曇野市 藤原さん
 安曇野市 等々力さん
 松本市 前田さん

果実中央選果所

「りんご」の直売所を再開しました

新型コロナウイルスの影響で、果実中央選果所敷地内にある直売所を休業していましたが、りんご「サンふじ」のシーズンに限り、再開することとしました。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

<営業日> 令和5年12月2日(土)まで
 <営業時間> 午前9時～午後3時
 <休業日> 日・祝

【お問い合わせ先】果実中央選果所 住所：安曇野市三郷温1283 TEL：77-3306(平日・土 午前9時～午後3時)



今月の星占い

- 牡羊座** (3/21~4/19) 秋の実りを楽しみましょう。思い出の料理を食べに行くのもお勧め。旧友との会話にも花が咲きそうです
- 牡牛座** (4/20~5/20) 対人運が活発化。もめることもありますが、向き合ってみると分かり合えることも。ポジティブに考えて
- 双子座** (5/21~6/21) ストレスを感じやすいとき。オーバーワークにならないよう予定を見直して。レジャー運は良好。お出かけを
- 蟹座** (6/22~7/22) 気になっていたことがいい方向へと動く好調運。問題は1人で抱え込まず相談を。力になってくれる人がいます
- 獅子座** (7/23~8/22) 大丈夫と思っていたことにストップがかかりそう。いち早く兆候を見つけられるようよく観察を。方向転換は吉
- 乙女座** (8/23~9/22) コミュニケーション運が活発化。好情報入手できます。ただ、後半は肩唾な話も。うわさには気を付けて
- 天秤座** (9/23~10/23) 人気運が良好。あなたの周りに自然と人が集まってきます。食事の時間に愚痴は控えて。楽しく食べて円満に
- 蠍座** (10/24~11/22) リーダーシップを発揮して。少しせっかちになりがちなき。周りの話を聞き歩調を合わせればスムーズに進みます
- 射手座** (11/23~12/21) よく分からないことで意見を言うのは控えて。いつの間にか悪者にされる恐れが。運勢は下旬から上昇します
- 山羊座** (12/22~1/19) 友人や知人とおしゃべりを楽しめます。好奇心を発揮すれば面白いことに出会えるはず。お試しプランにツキ
- 水瓶座** (1/20~2/18) 周囲からの注目度がアップ。良いことも悪いことも自立つので自分を律して。人に配慮すると状況は好転へ
- 魚座** (2/19~3/20) 努力の結果が出てやりがいを感じられそう。1人では難しいことも仲間と協力して大成功。宴席や旅行も幸運の兆し

理事会報告

〈10月26日開催〉

- 令和5年度 地区別総代懇談会意見集約について 他

スクラム

10月23日現在

- 直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員 / 730

みんなの声

庭 先の小梅の木や裏庭のイチジクの木は、ほったらかし状態なのですが、今年もたわわに実をつけてくれてありがたくも嬉しい限りです。
 (安曇野市 降旗さん)

創 立60周年の「ロゴマーク」と「キャッチコピー」が素晴らしいですね！JAあづみの益々のご発展をお祈りします。
 (松本市 山崎さん)

フ オトコンテスタの写真やほっとレポートの写真で季節の移り変わりを感じて楽しめました。
 (安曇野市 保高さん)

今 秋の粟は、小粒になりました。暑い夏を耐えてくれて豊作です。今、せっせと剥いて粟ごはん用に下さりえしています。
 (安曇野市 増井さん)

編集後記

秋晴れの下で開催されたあぐりキッズスクール。子どもたちが一生懸命作業する姿や時折こぼれる素直な感想に感心したり。食育は大人が教えるものではなくて子どもたちから教わるものかもしれない。たわわに実ったりんご、田んぼの匂いや景色など忘れられない貴重な体験となったのではないのでしょうか。

(Y・N)



第52回

大生活祭

とき 11月10日(金)～11日(土) 9:00～16:00
11月12日(日) 9:00～15:00

ところ 安曇野スイス村一帯・安曇野スイス村ハイジの里
農産物・生活用品・家電製品・農業機械・農業資材などを特価で販売

イベントのご案内

毎日	・集めよう!JAスタンプラリー	9:00～16:00 (最終日のみ15:00)
	・あづみ米目方当てコンテスト	9:00～16:00 (最終日のみ15:00)
	・JA愛知みなみ「渥美半島の花」販売	9:00～16:00 (最終日のみ15:00)

10日(金)	・季節の寄せ植え教室 (各回先着15名)	10:00 / 13:30
	・新米おにぎり、秋の味覚きのこ汁 (数量限定)	11:30

11日(土)	・松本蟻ヶ崎高校書道ガールズ書道パフォーマンス	10:00
	・新米おにぎり、秋の味覚きのこ汁 (数量限定)	11:30
	・災害食に挑戦	13:30

12日(日)	・ちびっこ牛乳早飲み大会	10:00 / 13:00
	・それいけ!アンパンマンショー	10:30 / 13:30
	・市内の小学生考案!安曇野農産物を使ったカレーの試食会	11:30
	・収穫祝い紅白餅振舞い	14:30

あづみ農業協同組合

●スマイル/No.691 2023年11月1日発行
●発行人/千國 茂
●編集/スマイル編集委員会 編集事務局/総務開発事業部総務課
〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6
●http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/ ●印刷/有限会社安曇印刷



JAあづみHP

SNS で旬な情報を投稿しています



MATSUMOTO Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています